



第66回選抜高校野球大会に出場、入場行進する母校ナイン。
(毎日新聞社提供)
(平成6年3月26日・甲子園球場)

も

< ジ

林校長挨拶、三木新会長挨拶	2	予算	11
母校進路状況、萩原 肇	3	会報会計決算	
楽しい同窓の集い	4	甲子園出場寄付収支報告	12
	5	同窓会会則	13
	6	会報寄付者名	14
母校クラブ・ニュース	7	教職員人事	
同窓会事務局報告	8	編集後記	
三木会長紹介		協賛広告	15
訃報、追悼	9		16
決算報告	10		
協賛広告			

母校の現況 同窓会長就任挨拶



校長 林 敏夫



三木 憲三 (昭和23年卒)

同窓の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。平素は母校のために何かとご支援を賜わり感謝いたしております。特に硬式野球部が第66回選抜高校野球大会に近畿代表として推薦され、甲子園に出場いたしました際には、物心両面にわたって格別のご協力、ご援助をいただき、まことに有難うございました。お蔭をもちまして、選手たちは心おきなく日頃鍛えた技量を存分に發揮することができ、1回戦で強豪桐蔭学園につけ入るすきを与えず完勝することができました。2回戦では投手の故障など不運が重なって不覚をとりましたが、この敗戦を教訓にして全員夏に向かって猛練習に励んでおります。今後とも後輩たちに変わらぬご叱正とご声援をお願い申しあげる次第でございます。

さて、皆様の母校北陽も今年で創立69年の年輪を刻むことになります。卒業生(同窓会員)も2万6千名を越え、名実ともに歴史と伝統に輝く学園に成長しました。今年も495名が卒業して行きましたが、進路状況は別表通りです。思い切って教科課程を改め、学力向上の施策をはじめて5年にしてやっと成果が出てきたようです。現役の大学合格者が平成3年度は86名だったものが、昨年度は123名、今年度は228名と急増してきたのはその証左といえるでしょう。

一方、4月には受験者3,081名のうちから488名が入学できました。従って、1年11、2年15、3年13、計39クラス、生徒数1700名の大世帯は相変わらずですが、生徒急減の情勢から数年後には1400名台になることは必至だと思われます。

クラブ活動は相変わらず盛んです。特に昨年6月に完成した温水プールは、授業や水泳部以外、硬式野球部が筋肉疲労の回復に利用してテレビ、新聞でとりあげられたのはご存知かと思います。その他特筆すべきは、文化面での活躍です。プラスバンドの銀賞受賞に続いて、野鳥の会に属する本校生徒がつばめの生態調査で受賞して、新聞等で大々的に紹介されるなど地道な研究も次第に根づきつつあります。これら生徒たちの資質を大事にして一人ひとりの適性を大きく伸ばすための援助をして行かなければならぬと痛感しているこの頃でございます。

校運発展のため、皆様に倍旧のご叱正、ご協力をお願い申しあげますとともに、皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

北陽同窓会では今年が役員の改選期となり、藤井会長が後進に道を譲り勇退される事に伴い、図らずも会長の大役を仰せつかり身に余る光栄であると存すると共に、その責任の重大さに身の引き締る思いが致します。

北陽同窓会の歴代会長を振り返ってみると、初代が日本弁護士会会長を務められた阿部甚吉先生、2代目には毎日新聞社代表取締役から関西大学理事長を歴任された鶴野治兵衛先生、そして長年に亘って同窓会発展の原動力となり尽くしてこられた3代目藤井文太郎会長の後を受けて4代目会長を仰せつかりましたが、これら先人大物先輩に比して甚だ器も小さく、又非才微力者で、その任では無いかも分かりません。しかし幸い周りには有能な立派な方方が多くおられますので、この優れた能力を充分發揮して頂き活力ある同窓会活動を行い、母校北陽の更なる発展の為、舵取役を果して参る所存です。

母校北陽では平成7年に創立70周年と云う大きな節目を迎えます、同窓会に於いてもこれを目標に多くの卒業生が集う記念総会を是非行いたいと思っております、又記念事業として改訂同窓会名簿の発行、70周年記念誌の発行やこれに関する事業等々を進めて参らなければなりません、そしてこれに対する準備も今年度から着手しなければなりません、是非代理員の皆様を始め、同窓各位のお力添えを仰がねばなりません、近々に新理事会を催して具体的に検討を始め、母校側とも相談の上計画を立てて今秋には臨時代議員会を開催の上、記念総会並びに記念事業に対する具体案を報告申し上げご意見を伺う場に致したいと思います。

私としては、先ず母校創立70周年記念事業を成功に収めることに力を注ぎたく思っておりますので、何卒ご協力下さるん事を切にお願い致しますと共に、今後共ご指導とご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

三木 憲三氏 略歴

昭和5年9月4日生 午年 当年63歳

昭和23年 北陽商業学校卒 (第20回生)

〃 関西大学予科入学

昭和28年 関西大学法学部政治学科卒

昭和35年 栄興電機工業株設立

代表取締役に就任、現在に至る。

母校進路状況

バブル崩壊による不況が構造的な様相を呈し、全国的に求人倍率がダウンし、特に大手企業の採用減が目立った。本校の場合も製造、販売、事務関係の求人数が激減し、求人倍率は昨年度の8倍から6倍にダウンし、一次内定率は過去最低の68%であった。また二次募集がほとんどないという状況であったが最終的に一次不採用後の生徒のがんばりと適切な個人指導によりほぼ全員が内定を決めた。今年度も前年以上の厳しさが予想され、一層細かな指導が必要と思われる。

進学については18歳人口減少の時期に突入し、

進路指導教諭 萩原肇

受験生人口は減少。不況の影響から国公立ブームは本格的なものになり、とりわけ私立大学は数字上では入りやすくなったといえる。ただし偏差値40~45のいわゆる低学力層は、依然として激戦地で戦わざるをえないという状況は全く変化していない。

本年の大学進学率は29.7%で昨年の16.6%を大幅に上回った。平成元年のドン底の状態(進学率12.3%)からやっと抜け出で、数字そのものは昭和60年代に戻ったといえる。ただし、その内容は質・量ともに過去最高のものといっていい。

平成6年 大学合格者数一覧

四年制大学

	合格者数		
	現役	浪人	合計
追手門	4	2	6
大阪学院	1	6	7
大阪経済法科	4		4
大阪芸術	4	11	15
大阪工業	9	1	10
大阪産業	14	2	16
大阪商業	1	1	2
大阪電気通信	8		8
岡山商科	1		1
関西	3		3
関西外國語	2		2
関西学院	1		1
九州共立	1		1
京都学園	10	1	11
京都産業	8		8
京都精華		1	1
近畿	14	3	17
岐阜経済	2		2
九州国際		1	1
甲子園	5	1	6
甲南	1		1
神戸学院	4		4
神戸国際	4		4
国際武道	1		1
四天王寺国際仏教		2	2
種智院	2		2
城西	1	1	2
成安造形	2		2
成城		1	1
摂南		2	2

短期大学

	合格者数		
	現役	浪人	合計
大阪職業能力開発	2		2
大阪短	1		1
京都経済短	3		3
京都芸術短		2	2
京都短	7		7
嵯峨美術短	2	1	3
産業技術短	6		6
聖泉短	2		2

	合格者数		
	現役	浪人	合計
専修	1		1
宝塚造形芸術	3		3
第一経済	1		1
大東文化		1	1
中京学院	1		1
帝京		1	1
東洋	5		5
東和	2		2
徳山	1		1
富山国際	1		1
長岡造形	1		1
長崎総合科学	1		1
奈良産業	14	3	17
日本文理	4		4
阪南	22	1	23
姫路独協	9		9
仏教	1		1
福井工業	1		1
北陵		1	1
北海学園北見	2		2
宮崎産業経営	1		1
明治学院		1	1
名城	2		2
桃山学院	3		3
四日市	1		1
立教		1	1
立命館	4		4
龍谷	2		2
流通科学	1	1	2
小計	190	47	237

	合格者数		
	現役	浪人	合計
高山短	4		4
徳島工業短	3		3
徳島農業	1		1
中日本自動車短	3		3
名古屋造形芸術短	2		2
浜速短	2	1	3
小計	38	4	42

楽しい同窓の集い

堀江先生お元気で 陸上部OB会

新緑さわやかな季節、陸上部OB会では昨年4月11日(日)堀江教頭先生、ご勇退に際し「堀江教頭先生に感謝する集い」を新阪急ホテル、花の間に開催致しました。

38年間の長きにわたり我々にご指導、又応援して頂きました事を心より感謝し、堀江先生と共にご家族をお招きして、楽しいひとときを過ごしました、参加総数135名が集いOB会の代表が記念品を贈呈し閉会しました。

先生にも又ご家族のかたがたにも大変喜んで頂き心に残る1日だったと思います。

堀江先生、永い間ほんとうに有りがとうございました、いつまでもお元気で。

北陽高校陸上部OB会
会長 大久保 真任 (S36年卒)

〔お詫び〕

昨年、この原稿を頂きながら、事務局との連絡不十分のため、掲載が遅れましたことを深くお詫び申しあげます。



写真は陸上部OB会主催の堀江先生に感謝する集い

北陽商一會第15回同窓会

平成6年3月29日に一年振りの同窓会を阿倍野近鉄9階のK・Y・Kにて開催しました。

昨年は会員10名のところ、5名の参加でしたが今年は会員7名となり参加者5名でした。定刻形ばかりの総会を開き、藤田会長の挨拶、統いて決算報告並びに承認等総会を終了し、懇談会に移り、お互い元気で再会出来たる事を喜び合ったものでした。話題は日常生活の事、特に健康に就てはお互い年齢的に何等かの障害があり寂しい限りで本当に深刻だと思いました。話は尽きませんでしたが予定の時間も残り少なくなり代議員会での再会を約し閉会しました。

尚悲しい報告ですが平成5年度に宇野実君(4月) 藤田武雄君(6月) 萱野安太郎君(8月)の三君が逝去され誠に残念な事でした、心よりご冥福を祈って止みません。

昭和4年第1回卒業 松村 豊記



写真は後列右から松村豊、岩永清治、前列右から藤田忠男、千原勇、中井勲の各氏。

昭和16年卒業(13回) 同窓会

私達は第7回同窓会を、平成5年3月13日～14日滋賀県近江八幡国民休暇村別館にて、國定公園琵琶湖畔沖ノ島を見下ろし残雪に煙る比良山系を遠望する風光明媚な風景を満喫し乍ら、東宝の名プロデューサー宇野博之君を含む12名が古希を迎えた同窓会を開催致しました。

終始有意義に懐かしく且つ愉快に和気藹々に談笑し、盛会裡に終了しました。翌朝早春の晴天下、全員で名刹、長壽寺願で有名な多賀大社に亡き同窓戦友への慰靈を兼ね、長壽への謝礼と、母校の益々のご発展を祈願の為に参詣し、次回元氣での再会を約し散会しました。

(辻 豊記)



第7回 一八年度同窓会 平成5年3月13～14日 滋賀県近江八幡国民休暇村別館 1081
写真は右から 辻 豊、佐野良晴、地道正兼、津田眞治、藤山義雄、芦田喜八郎、高橋忠道、糸井弘至、野村圭司、松井定雄、宇野博之、本田実穂の各氏。

東京支部総会

とき 平成5年9月5日1泊

ところ 箱根宮城野(みやぎの)

当日は晴天に恵まれて、小田原駅着4時頃、林校長、藤井会長を村元氏がお迎え一路“みやぎの”へご案内いたし、予定どおり16時30分から林校長の学校の近況報告、母校の将来構想について、続いて藤井会長の挨拶、18時より特別室にて懇親会(コンパニオン3名参加)20時より地下特設バーにてカラオケ大会、翌朝、全員にて朝食後解散。



写真は向かって後列右から、小宮茂、村元正明、菊野良平、岡部守隆、西川雅敏、南村宰平、前列右から糸井弘至、岡田英治、藤井会長、林校長、宇野博之、向所登貴郎の各氏(女性はコンパニオン)

三河路の臘月会(昭和14年卒)

日上君のご尽力により平成5年7月13日14日の2日間、私達昭和14年卒業の臘月会グループは社研友の会のバッスターに便乗して三河の三ヶ根温泉に旅行することとなった。会員の中には病院通いとか妻の病気で看護に忙しいとかで不参加者が多く、当日の参加者は11名であった。

国盛の酒造、酢の里見学を経てホテルに到着、温泉に浸り裸のつき合いで一風呂浴びた後、宴会場に入った。酒ビールを飲み交しカラオケを聞きながら久方振りの楽しい歓談の機会を得た。翌日は好天に恵まれ、三河湾の素晴らしい景観を展望、三ヶ根觀音靈場を参詣した。この靈場は太平洋戦争時、比島激戦地において戦車隊、航空隊、工兵隊、歩兵隊の戦死者の靈を祀る靈場であり、各兵科毎に靈碑が建立されていた。戦争に参加した私達は感慨無量で追悼の誠を捧げた。人形美術館、宝石伝説館、がん封じ寺を経由、一路大阪へ帰路についた。

同窓生の元気な顔を見ると学生時代の事が思い出され、若干若返った様な気がした。

(伊関嘉則)



写真は三河路の臘月会、参加者は日上泰光、伊関嘉則、岡田英治、樋口一良、東本晃、山下秀夫、上田広次、辻田陽、松浦禎幸、井筒喜一郎、藤井文太郎の各氏。

第16回商業第1本科同窓会

(昭和18年・1943年卒業)

私たちは毎年1回、恒例の同窓会を平成5年10月30日(土)大阪弥生会館で開催しました。

当日、出席した友人は24名で、年々減少していく中で増加したことは誠に喜ばしい限りであり、友人諸兄方のご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

席上、母校の動静や同窓理事会における現況について詳細な説明が中野、山崎両君よりありました。そして1年振りに再会した喜びとお互いの健康を祝しながら時間の経つも忘れて歓談し、また逢う日を約束して散会しました。

さて、振り返りますと平成5年は地震あり、台風、水害などありで例年にない異変の多い年でありましたが、私たちは同窓の友情はお互いの人生がある限り不变でありたいと願っております。尚、来年は母校創立70周年を迎ますが母校に対する关心を今以上に深めるよう努力したいと思います。

最後になりましたが母校、そして各学年度のOB会及び同窓会本部のご発展と同期生諸兄のご健福をお祈りします。

(世話人 真壁和義)



写真はS18年卒同窓会、出席者名は次頁

写真は後列右から中路 浩、古河史郎、野田長博、杉本次男、中村忠平、加藤隆明、奥田正道、田中義信、山崎勝巳、真壁和義、中列右から上田吉一、田宮久一、大町 稔、松原 正、中野豊治、宮原純一、稽古庵武夫、下列右から瀬川種夫、釣宮義照、長谷一雄、足立俊昌、川島成雄、石橋健治、山村（山本）義男の各氏。

昭和24年（第21回商業第1本科）

昭和25年（第1回普通科）卒業同窓会

私達は昭和19年4月、先の太平洋戦争の末期に北陽に入学しました。

当初は、3クラス、約200人位いの同期生がいたと記憶しています、戦争の激化に伴い、翌年の20年には学徒動員で各々の工場に分散され、終戦の20年8月まで僅か4か月でしたが、汗と油に塗れながら懸命に働いたことが強く脳裏に残っています。

戦争が終って荒廃した学校に戻った頃の同期生の人数は入学当時の約半数の100人程に減少していたと思います、従って100人位が戦後の混乱時期に何等かの事情で学舎を去られた関係で2クラス（1クラス50人）になりました。

はからずも今年4月で入学して50年、思えば感慨無量です。

昭和22年新学制、即ち6・3・3制によって昭和24年旧制商業の最後の卒業生として約60人が、そして翌25年残り40余人が新制高校第1回生として卒業して行きました。

種々事情がありました、同窓会開催については昭和19年入学時の同期生を基準に名簿を作成、長年途絶えていた会を昨年10月22日（金）大阪中央区の「う越清」で開催しました。案内発送件数46件、内出席者数13名と少數で寂しい感でしたが、ご多用中にもかかわらず、林校長のご出席をいただき、戦中戦後の昔話に花が咲き、懐かしさがいっぱい時間のたつのも忘れ歓談しそして来年のまた逢う日を約束して散会しました。

次回の世話を人は中野茂、東畠喜英の両君にお願いしました、開催の節は一人でも多くのご出席をお願いします。

最後になりましたが母校、そして各学年の同窓会のご発展、同期生諸兄のご健康とご多幸をお祈りいたします。

世話人 深谷和美
〃 皆川良起
(皆川記)



写真はS24年商業第1本科・S25年普通科卒業同窓会、前列左から 東畠喜英、寺西克美、林校長、杉本庄七、前川正雄、中野 茂
後列左から 橋本浩一、岡本明夫、深谷和美、枝松兼雄、柏原春男、内山種次、坂本 博、皆川良起の各氏

昭和27年卒クラス会

昭和27年度卒業生のクラス会を平成5年4月24日に吹田市江坂駅前の「うお七」で開催しました。還暦を迎えて永い現役生活を一步退いた人、まだ現役で活躍する人、それぞれに頭は白くなり生え際の後退した人もその時だけは高校生に戻り青春の真っ只中のようなひとときを過ごしました。恩師もお迎えして、童謡の「だれが生徒か先生か」を思わず口ずさみそうな姿の差がなく、ご覧の通りの写真となりました、次回の会を楽しみに健康に留意することを約束して散会しました。

(阪原 弘)



写真は昭和27年卒同窓会 前列右から 阪原弘、多 昌治、石井宏一、杉浦先生、徳本幸治、中田 学、北村一郎、松田昌幸、後列右から 中川一郎、丹波義次、関野 孝、長瀬 豊、林徹夫、栗栖 浩、西半誠一、小野（那須）忠彦の各氏。

母校クラブニュース

甲子園出場（第66回選抜高校野球大会）を振り返って

監督 新納 弘治

コーチ時代に2度選抜大会に出場しているものの、監督としてはまさに初の甲子園出場、高校野球の指導者にとって檜舞台の甲子園にこんなに早く出場させていただけたことは私にとって無上の喜びでした。

2月1日から3月26日までの皆様方からお祝いや激励の言葉をうけながらチームのコンディション作り、嬉しさと責任感の入り混じった実に充実した日々を送りましたように思います。

開会式で北陽の選手達が整然と行進した時の感激は今も忘れることが出来ません。

さて1回戦は優勝候補の一角に挙げられている名門桐蔭。俊足ぞろいで相手を足で撹乱する戦法のチームとは聞いていましたが敢えてその事は意識しないようにして試合に臨みました。評判通り足を使つた攻撃は執拗でしたが本校選手達は冷静に対戦してくれ、3-0と試合内容も申し分のない勝利を収めることができました。2回戦の姫路工業戦は前半優位に試合を進めながら後半試合の流れが相手方に傾き無念の敗戦となってしまいました。この試合は私に野球の難しさを教え今後に大きな課題を与えてくれました。

2回戦で敗れたとはいえた選手達は本当によくやつてくれました。甲子園での1勝は私にとって一生忘れることが出来ないでしょう。

2月の寒い日の人文字作成や全校挙げての応援等々、皆様方からいただいた種々のご支援に対し深く感謝すると共に今後一層の精進努力を重ねる所存でございます。

主将 森田 光則

夢であり念願であった甲子園出場の機会を得られたことは、皆様のご声援や激励によるものと心から感謝しています。結果は桐蔭学園戦には3対0と会心の勝利をあげたものの、姫路工業戦には3対1と北陽ナインの力を出しきれないままの敗退にくやしさが残りますが、おかげ様で勝つ喜びそして勝つことの難しさを知ることができ、一生の心の財産を体験させてもらいました。

夏にはこの経験を生かし、監督さんご指導のもとチーム一丸となって全国制覇を目指す全力を尽くし頑張ります。今後ともご指導いただきますようよろしくお願いします。このたびは本当にありがとうございました。

投手 嘉勢 敏弘

夢であった甲子園、やはりすごい所だったと思い

ます。これも応援してくださった皆様のおかげだと想い心から感謝しています。

この甲子園で学んだことは、いつも監督さんに言わされている野球の流れは1球で変わるということ、勝つ喜び、負ける悔しさを身を持って経験し、夏への一つの課題としてがんばり、また、夏には目標である甲子園へ行きたいと思いますので、今後もご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

このたびは、ほんとうにありがとうございました。

水泳部

監督 石坂 喜一

昨年6月に室内温水プールが完成。25m、6コースの公認用であり、オープンから1週間後に、すでにインターハイ地区予選が行われた。ある女子高校では全員がベストタイムを出すことができたそうであるく泳ぎやすいプールであると好評であった。

水泳部としても新プールでの練習は良い条件であるためか、夏の高校競技会の成績は今までにない成績を修めることができた。大阪高校総体、大阪高校新人では初の総合優勝となり、また私学大会では5連覇となった。

10月からの冬季シーズンでは、今まで16年間スイミングスクールなど2コースを借りて夜の9時ぐらいまで練習していたのに比べ、6コース使え、強化練習等も実施できることもあり、かなりの効果が出てきた。その成果は今年度春季全国ジュニアオリンピック大会で出はじめている。リレー3種目、個人7種目5名すべてがベストタイムを出すことができた。その結果、決勝進出は6種目という好成績であった。春季大会は、夏季に向けての力試しであり完全調整でないにもかかわらず、まずまずであった。この調子で今季は、全国インターハイで多数の決勝進出を狙いたい。

年々府下の選手レベル低下の傾向を感じられる。そんな状況ではあるが、日本のトップスイマーに北陽から一人でも多くなる様、新プールにて育て上げたい。



写真は昨年6月完成した公認室内温水プール。

同窓会事務局報告

第4代目 同窓会長に

三木憲三氏（昭和23年卒）

平成6年6月4日、新阪急ホテルで行われた第17回代議員会で4代目・同窓会長に三木憲三氏（昭和23年卒、栄興電機工業㈱社長、63歳）が満場一致で選ばれた。

開口一番、同窓の親睦と来年を迎える母校70周年に向けて名簿の発行や長年の懸案だった同窓会総会の開催など熱い思いがこめられていた。

三木氏は母校へ昭和18年入学、同23年北陽商業（旧制）の卒業生である、在学中ボクシング部の創設に参画、2代目キャプテンとなり、昭和22年開かれた日本アマボクシング連盟主催、毎日新聞後援の第1回全日本中等学校ボクシング選手権大会に関西代表として出場、初代バンタム級チャンピオンに輝いた。そして同期の栗田文吉氏（同窓会理事、ヤンマーディゼル専務）はフェザー級で準優勝されるなど北陽ボクシングの名は一躍全国に馳せた。

昭和23年、関西大学へ進学、同28年法学部を卒業、同35年、栄興電機工業㈱を興し代表取締役となる。在学中の戦時下、約2年間、北区長柄の日本橋梁㈱で学徒勤員による勤労奉仕、奇しくもその日本橋梁が栄興電機の主要取引先であるとは不思議な縁である。

昨年9月、ホームコースの愛宕原ゴルフ倶楽部でのキャブテン杯に優勝、文句なしにシングル入りを果された、60歳を過ぎてからシングル入りの話はほかに聞いたことがない、まだまだお元気のあかしと云えよう。ただシングル維持のため会社の経営が疎かになるのではと案じる向きもあるが持ち前のファイトから心配無用と云えよう。

そのファイトとバイタリティを生かし、同窓会の親睦、70周年の記念事業、生徒数の減少から私学経営が危ぶまれているなか母校をどう応援するのか腕の見せどころ、期待すること大である。

（昭和20年卒 鶴川記）

第16回代議員会

平成5年5月8日新阪急ホテルにて多数の参加者で盛大に開催されました。

今回は山崎議長にて、議案が全員のご賛同を得て無事に終了いたしました。

藤井会長の新しい方針に従って北陽高校同窓会は前進しております。

会長の支部育成を第一のスローガンにしておられます。先ずの旗上げは吹田支部が発足したことは慶賀にたえません。続く支部発足を願っております。

今回の懇談会は例にない催しなりました。三木副会長、福島副会長、山崎理事には大変お世話になりました。また、田中先生の美筆には会場に花を添えられました。

林校長の文部大臣賞授賞と金沢勇教頭就任と慶賀が重なりました。

同窓会会則が改正委員会にゆだね、数回の委員会をもたれて出来上りましたことは偏に改正委員会のお蔭であります。以前の北陽同窓会が北陽高校同窓会として新しく名称が変りました。

新しく伝統ある北陽高校同窓会は日々新たに成長していくことは皆様の今後のご協力なくてはなりません、どうか今後共よろしくお願い申し上げます。

（追伸）

北陽高校同窓会の校旗を作成しました。また、胸に差入れる「ネームカード」も作りましたので各支部、同窓会にご利用下さい。（その節は事務局までご連絡下さい）。

第1回理事会 平成5年4月3日（土）

報告事項

- 1、同窓会旗、プレート報告
- 2、会報委員会報告

議題

- 1、会則委員会の件
- 2、総会準備委員会の件
- 3、予算案の件

第2回理事会 平成5年5月8日（土）

報告事項

- | | |
|--------------|-------|
| 1、代議員会の準備の報告 | 三木副会長 |
| 2、会報委員会 | 鶴川理事 |

議題

- 1、平成4年度事業並びに決算案 濱本会計
- 2、平成4年度監査報告 鶴川監事
- 3、平成5年度予算案並びに事業計画案 濱本会計

4、来年度代議員会予定日 平成6年6月4日（土）

第3回理事会 平成5年5月29日（土）

報告事項

- 1、代議員会会計報告があり承認された

議題

- 1、支部拡大策についての提案があり承認された
- 2、各部会の委員が次のとおり承認された。

会報委員会

鶴川権治氏・宮永康之氏・窪田喜久男氏・多水善和氏

総務委員会

松村 豊氏・田中義信氏・鈴木 満氏・寺田賢作氏
支部拡大委員会

山崎勝巳氏・杉本庄七氏・栗田文吉氏・阪原 弘氏
名簿委員会

松城友一氏・濱田康雄氏・北川 徹氏・越川 昇氏
3、毎年卒業生に記念品を贈る件が承認された

第4回理事会 平成5年10月2日

報告事項

- 1、予算修正について
人件費と卒業生に贈る記念品代が増える
- 2、東京支部総会報告

9月5日～6日箱根で開催 校長、会長が出席 和気藹々の雰囲気の会合であった

3、各委員会報告

(イ) 総務 (松村理事報告)

8月2日第1回委員会開催 年長者の松村豊氏を委員長に選出 事務局員に濱本彦一氏を採用

従来はパートであったが毎日10時00分～16時00分まで、(土曜日は午前中)休日、学校の休日は休み。

経費、会計

濱本事務局員・伝票、記帳全部、大島事務局長・濱本事務局員が実行したものチェック、現金の出納

(ロ) 広報 (鶴川理事報告)

8月19日、9月18日開催

- (1)会報には楽しいものを掲載する
- (2)会長から提案の「昔と今の私」をとりあげたいのでご推薦願いたい
- (3)会報を漸次増やしたい (現在5,300部)
- (4)会報予算は一般会計でお願いしたい
- (5)学校の新聞部と交歓したり各部のキャブテンと話したい

(ハ) 支部拡大 (山崎理事報告)

6月19日、10月2日

- (1)支部育成委員会を支部拡大委員会に改稱
- (2)会長は多くの支部を作ることを希望している
- (3)卒業生の人数把握

(二) 名簿作成 (越川理事報告)

9月25日 開催

創立70周年記念に向けて会報発行の際「移動通知ハガキ」を同封

第5回理事会 平成6年2月5日

報告事項

- 1、名簿委員会 越川理事から報告
- 2、12月懇親会 福島副会長から報告
- 3、広報委員会 鶴川理事から報告
1月29日開催・15号会報の発行予定について
- 4、各委員会の副会長担当が次のとおり承認
総務委員会 福島副会長
名簿、支部拡大委員会 三木副会長
広報委員会 山崎副会長

議題

- 1、代議員の増員について
会長から代議員を300名まで増したいので代議員の出てない年度からしかるべき方を推薦してほしい
- 2、選抜高校野球大会出場について
 - (イ) 従来その資金のバックアップは同窓会、PTA、学校の三者である
 - (ロ) 協賛金の額について各委員からさまざまな意見があったが 1口5,000円とし一般会員1口以上 代議員及び理事3口(15,000円)以上 副会長30,000円～会長50,000円以上。

お悔み申しあげます

宇野 實氏 (昭和4年卒)

平成5年4月5日 84歳

〒513 鈴鹿市住吉1-3-19スガセアパート2号

藤田 武雄氏 (昭和4年卒)

平成5年6月29日 84歳

〒665 宝塚市千種4-2-6

萱野安太郎氏 (昭和4年卒)

平成5年8月23日 82歳

〒663 西宮市松並町3-9ロイヤルシャトーネ

藤井 章雄氏 (昭和17年卒)

平成6年1月24日 68歳

〒567 高槻市日吉台5番町5-4

杉本 誠三氏 (昭和6年卒)

平成5年7月14日 80歳

〒545 大阪市阿倍野区王子町2-16-11

辻田 栄一氏 (昭和16年卒)

平成6年4月5日 70歳

〒592 高石市千代田3-8-23

「追悼」

杉本誠三君の思い出

顧問 杉本 二一 (昭和6年卒)

一陣の涼風に昼の疲れが一度に飛ぶ今日この頃ですが、思いがけず同期の杉本誠三君の訃報(平成5年7月14日)に接し、誠に驚き入りました。早速同期(第1本科3回卒)の諸君に連絡し、お葬式には参列させて頂きました。

彼、杉本誠三君は2年生の時転入して来た色白のぼちやとした好少年で、サッカーチームに属し活躍されたものです。昭和6年卒業し、その年に同志社高商に進学され、昭和9年卒業後家業の米穀商を継ぎ、そののち現住所で玩具の小売商を営んでいました。彼は旅行好きで、然も大変な美食家でたびたびの旅行、小生と旅の友でした。

一昨年10月にも、松村豊氏と小生の3人で「尾道と鞆の浦」旅行し非常に楽しかったことなども思い出されます。特に鞆の浦を見下ろした景色のすばらしさに茫然としたことなど最早悲しい思い出はつきません。旅行アルバムも数十冊にもなっています。この懐い遺影を拝しながら、幸せだった一生を想い、心からご冥福をお祈りいたします。 合掌
遺族住所 大阪市阿倍野区王子町2丁目16-11

杉本 真人

同窓会員 26,408

在校生 17,00

94' 4.1.現在

平成 5 年度 北陽同窓会決算報告書

H5.4.1~H6.3.31

(単位円)

収入の部

科 目	予 算	決 算	摘 要
前 期 繰 越	16,620,912	16,620,912	
会 費	2,495,000	2,465,000	493名@5000円
受 取 利 息	400,000	288,561	
代議員総会会費	300,000	505,000	
会 報 決 算	0	12,022	
名 簿 売 上	0	16,000	
合 計	19,815,912	19,907,495	

支出の部

科 目	予 算	決 算	摘 要
理事代議員会議費	1,000,000	1,121,023	
学校へ協力金	250,000	250,000	クラブ活動補助
人 件 費	2,100,000	1,179,500	
交 通 費	230,000	61,920	
消 耗 品 費	50,000	19,196	
通 信 費	150,000	73,716	
印 刷 費	100,000	198,800	
備 品 費	200,000	199,900	
支 部 育 成 費	250,000	70,000	
慶弔 費	950,000	900,000	
予 備 費	300,000	276,471	
次 期 繰 越	14,251,912	15,556,969	
合 計	19,815,912	19,907,495	

“安全と安心”をお約束します

大阪府公安委員会認定 第874号
 社団法人全国警備業協会会員
 社団法人大阪府警備業協会会員
 大阪府警備業連盟理事

有限会社 杉本警備保障

代表取締役 杉本次男 (昭和十八年卒業)

本社〒573 大阪府枚方市走谷1丁目11番12号 TEL(0720)43-1231番 FAX(0720)43-2433番

(兼業として)…第一種利用運送事業(貨物自動車)(近畿運輸局許可 近運貨取第112号)を営業致しております。倉庫・百貨店・スーパー・飲食業者等に対する定期的な貨物運送業務を致しております。御用命をお待ち致します。

平成6年度予算

(自平成6年4月1日~至7年3月31日)

収入の部

(単位円)

科 目	予 算	摘 要
前 期 繙 越	15, 556, 969	
会 費	2, 695, 000	539名 @ 5000
受 取 利 息	300, 000	
代議員総会会費	500, 000	
会 報 決 算	0	
名 簿 売 上	0	
合 計	19, 051, 969	

支出の部

科 目	予 算	摘 要
理事・代議員会費	1, 000, 000	
学校への協力金	250, 000	クラブ活動補助
人 件 費	2, 100, 000	
交 通 費	200, 000	
消 耗 品 費	50, 000	
通 信 費	150, 000	
印 刷 費	200, 000	
備 品 費	200, 000	
支 部 育 成 費	250, 000	
記 念 品 費	450, 000	
会 報 补 助 費	300, 000	
慶弔 帛 費	150, 000	
予 備 費	350, 000	
次 期 繙 越	13, 401, 969	
会 計 合 計	19, 051, 969	

会 報 会 計 決 算 書

(H5.4.1~6.3.31)

収入の部

前 期 繙 越	244, 997
会 報 協 力 金	671, 247 (244名)
広 告 料	120, 000
合 計	1, 036, 244

支出の部

印 刷 費 一 式	420, 300
発 送 費	448, 761
消 費 税	16, 761
封 筒	108, 000
振 替 用 紙	30, 400
当 期 残 高	12, 022
合 計	1, 036, 244
当 期 残 高	12, 022
次 期 繙 越	12, 022

第66回選抜高等学校野球大会出場の御礼とご報告

謹啓 初夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび北陽高等学校硬式野球部が第66回選抜高等学校野球大会に出場するに際しましては、物心両面にわたるご芳情ならびにご声援を賜わり、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

お蔭をもちまして、応援態勢も整い、第一戦で強豪桐蔭学園に完勝し、念願の校歌を聞くことができました。第二戦では、姫路工業高校と対戦しましたが、不運も重なり、平素の力を充分に発揮できず、残念ながら敗退てしまいました。

今後関係者一同、この大会で得た教訓と体験をいかし、新たな気持で精進を重ねて参る所存でございます。何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに募金の決算書を添え、ご報告を兼ね、御礼のことばといたします。

北陽高等学校 硬式野球部
甲子園出場壮行後援会
会長 藤井 文太郎
校長 林 敏夫

第66回選抜高等学校野球大会

北陽高等学校硬式野球部甲子園出場壮行後援会

収支決算報告書
 収入総額 18,539,145円
 支出総額 17,830,297円
 差引剰余金 708,848円

収入の部

科目	金額	備考
寄付金	17,068,345円	同窓会関係 6,139,345円 PTA関係 7,869,000円 取引先他 3,060,000円
補助金	1,470,800円	大会本部 1,470,800円
合計	18,539,145円	

支出の部

科目	金額	備考
選手関係費	7,881,501円	宿泊・交通・用具・雑費
応援関係費	6,803,126円	入場券・交通・用具・雑費
事務局費	3,145,670円	記念品・印刷・通信・雑費
合計	17,830,297円	

差引剰余金 708,848円 大会出場準備金へ繰入れる。

北陽高等学校同窓会会則

第1章 総 則

第1条 (名称) 本会は北陽高等学校同窓会と称する。

第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会に貢献することをもって目的とする。

第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 会報及び会員名簿の発行
2. 総会及び代議員会の開催
3. 母校の発展に寄与する事業
4. その他目的達成に必要な事業

第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく
支部は必要な地域又は職場に設ける事ができる。
本部を事務局におき本会の事務を処理する。

第2章 会 員

第5条 本会の会員は次の通りとする。

1. 正会員
 - (1) 北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生。
 - (2) 上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者。
2. 特別会員 母校の現職員並びに旧職員。
3. 名誉会員 母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会の承認を得た者。

第3章 役員及び役員会

第6条 1. 本会に次の役員を置く。

1. 名誉会長 1名(母校の現校長)
2. 顧問・相談役 若干名
3. 会長 1名
4. 副会長 3名以内
5. 理事 30名以内
6. 会計 1名
7. 監事 2名
8. 代議員 300名以内
9. 事務局長 1名

2. 役員の任期は3年とする。但し再任を妨げない。

第7条 1. 役員は理事会の同意を得て代議員会の承認を得るものとする。

第8条 (任務) 1. 会長は会を代表し会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。
3. 理事会は会務を執行し会の運営に必要な内規を定める。
4. 会計は会の財務を処理する。
5. 監事は会計を監査する。
6. 代議員会は次の事項を審議する。
 - (1) 事業計画及び予算
 - (2) 事業報告及び決算
7. 事務局長は本部事務局を管理し会長の指示を受け会に関する事務全般を処理する。

第4章 会 計

第9条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第11条 (会費) 本会の正会員は終身会費を負担するものとする。

第5章 総 会

第12条 総会は会長これを招集し代議員会をもってこれに代えることができる。

第6章 支 部

第13条 本会は支部を設けることができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にするものとする。

第14条 本部に支部長会をもうけ随時開催して支部相互の連絡協調を計り親睦を深めるものとする。

第7章 会則変更

第15条 会則の変更を必要とする時は、会長は理事会の議を得て総会又は代議員会の承認を得るものとする。

第8章 附 則

第16条 その他定めなき事項は会長が理事会にばかり、これを決定する。

第17条 本会則は平成5年5月8日に改正し施行する。

会報14号に寄付頂いた同窓各氏（順不同・敬称略）

東 朗	足立 英二	有福 健	安達 駿輔	新井 敏男	荒木 俊夫	博 二	栗田 文吉
有年 安永	足立 豊	橋葉 勝男	今井 克純	池田 一夫	井筒喜一郎	至 三	印藤 貞夫
五十川昌一	今西 信一	市辺 史郎	飯川 隆司	今村 恒男	入江 歳夫	弘 義	飯田 久雄
生島 博史	井上 弘昭	石田 道治	石田 基治	井上 守正	伊闌 嘉則	彦 博	上田 秀一
睦月 淳一	内田二三男	内田 典雄	宇野 博之	宇野 實	上田 広次	國 雄	宇野 稔
上田 康三	上田 義次	姥浦 作次	越川 昇	枝松 兼雄	小田 一義	博 龍	小倉 源吉
大野 健三	岡田 耕一	大倉 駿雄	大浦 徳寿	尾上 則昭	岡野 弘	利 平	金本 正明
小川 昌雄	奥田 正道	大西義三郎	大谷 佳和	梶川 清	川口 重夫	一 武	太仙 賢祥
金井 克純	柿本 龍一	勝田 平助	龟田 真守	萱野 安太郎	藤山 義夫	弘 博	栗柄 治
北秋 一	北 二郎	木村 恒久	北川 徹	北田 義一	北島 光男	正 幸	齊藤 昭
久保 郁夫	釣宮 義昭	寺内 恒雄	小宮 茂	小森 和信	小谷 輝夫	助 昭	英男 誠三
酒井 英二	佐野 良晴	城島 未明	阪本 武治	佐渡 利任	野 伸一	政 義	愛之助
阪本 庄七	鈴木 善治	杉本 二一	神保 信男	塙谷 半一	清水 錦	原 勝	章 敏夫
十川 裕之	田口 勇	谷田 親彦	杉本 次男	鈴木 椎昭	鈴鹿 敏男	野 男	益行 克美
田口 清一	高木 隆雄	高木 種夫	田中 勝彦	田中 久一	田宮 照男	治 義	繁二 清治
田宮 春雄	谷戸 博雄	竜田 洋	高橋 忠道	高橋 高間	高山 五平	勝 元	保夫 隆夫
竹若與志雄	地道 正兼	土本 一夫	津田 弘志	田中 幸治	津田 幸治	彰 一	中津 康雄
寺田 賢作	寺本 俊美	寺西 元太郎	寺下 陽一	常喜 德	利川 伸川	二 治	寺西 克美
豊内 祥介	豊田 徳男	友杉 博	富室 寛之助	幸治 中吉	中野 長谷	一 雄	中津 繁二
中山 忠城	中西 武三	桜本 忠次	中島 勉	昭男 中尾	梨本 西本	太 光	中津 清治
西田 勇	西川 修	西村 一男	西田 和夫	晴郎 西村	野網 野澤	一 勝	保夫 保夫
西山 晴夫	西川 雅敏	新井 正之	西山 三男	貞彦 野村	本根 東根	良 藏	一 良
林 昭三	橋本 勝	羽田 和夫	辰巳 健治	主司 智	橋本 福井	穢 昭	健次 繁二
平田 勝治	菱矢 一男	樋口 和夫	武	東尾 長次郎	平野 松野	良 藏	義 賢
藤川 重義	藤田 忠男	藤川 孝夫	武	深谷 正吳	藤村 味舌	穢 昭	昭
福島 嘉維	札場 治男	本田 彰	武	法柏 信明	南村 宰平	明 大	直友 地性
松尾 一毅	松城 友一	眞壁 和義	武	牧井 忠男	三宅 三宅	性 起	起 三
前西 正晃	松田 昌幸	眞砂 洋輔	正	松原 民郎	百崎 和男	良 廣	利 喜
三沢 清治	三野 英男	宮野 孝雄	明	三宅 敏博	山崎 邦雄	吉 吉	男 三
村田 正明	村田 昭	向所 登貴郎	康之	宗高松太郎	山崎 勝己	安 富	利 浩
森井 優一	持田 嘉雄	山崎 忠平	寛治	山崎 駿	山本 邦雄	吉 吉	三 森 博
矢野 龍男	山口 保	山口 政勝	利一	山崎 昇	山下 秀夫	吉 吉	下 勇
吉田 健	横関 隆治	吉田 典生	弘	吉田 義治			

永久会費(会報寄付)2万円納入者は次の各氏
上田 秀一 (S 12年)、越川 昇 (S 40年)、小寺 恒雄 (S 18年)、杉本 誠三 (S 6年)、濱田 康雄 (S 41年)、松村 豊 (S 4年)、村元 正明 (S 33年)の皆さんでした、厚くお礼申しあげます。

教職員人事

新任者(平成6・4・1)

岩永宏光 京都産業大学外国語学部
H2年度卒
伊藤彰祥 甲南大学文学部国文学科
(H4年度卒)

退職者

宮崎 稲 (英語) 平成6・3・31
松本 昇 (国語) 平成6・3・31
足立紀尚 (社会) 平成6・3・31

会報発行寄付金(2,000円)のお願い

同窓会報は印刷費、郵送費などが主な費用であります
が、これらは同窓各位の協賛広告料、寄付金(2,000円)
によって賄われています。本年も何卒よろしく、ご
協力下さいますようお願いします。

なお、会報14号発行の際、協賛広告、及びご寄付いた
だいた同窓各位にはご氏名を掲載して謝意を表しました。
改めて厚くお礼申しあげます。

編集後記

会報15号も皆さんのご協力により発行することができました。

来年は母校の70周年を迎える特別号を企画しています、各年度の同窓会ニュース、写真、在学中の思い出など各位のご寄稿をよろしくお願い致します。

なお今回ご投稿下さった皆さん、協賛広告を頂いた各位に厚くお礼申しあげます。

(広報委員会 山崎 鶴川 宮水 雅多水)

<p>旅は仕事の潤滑油 ひとりひとりを大切に旅のことなら 全国旅行業協会 大阪府支部理事</p> <p>北港ツーリスト</p> <p>代表者 福島 嘉雄 (S26年卒) 電話 06-329-1517 329-4416</p>	<p>吉田書店共同会 山崎産業株式会社 代表取締役 山 崎 勝 己 (S18年卒)</p>
<p>松原紙株式会社 代表取締役 松 原 正 (S18年卒)</p> <p>本 社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>	<p>生コンクリート・建築材料一式・屋根工事 株豊島商店 代表取締役 豊 鳴 高 志 (S41年卒)</p> <p>大阪市東淀川区西淡路5-21-25 電話 (06) 322-6085・0488</p>
<p>川砂、建築材料一式販売 (株)三野商店 代表取締役 三野英男 (S30年卒)</p> <p>吹田市南高浜町35-1 電話 (06) 383-0062</p>	<p>リコーOA機器専門店・総合コピーコーナー 東洋オフィスマシン株式会社 ABCコピーセンター 営業部長 神野 賢祥 本 店 〒532 大阪市淀川区西中島3丁目8番14号 犬飼ビル1F-3F TEL 大阪(06) 304-8491(代)</p>
<p>Golf Shop ウチダ</p> <p>内 田 二 三 男 (S23年卒)</p> <p>〒560 豊中市上野坂2-22-4 TEL (06) 845-0345 自宅 〒665 宝塚市中山桜台5-3-1 TEL (0797) 88-7000</p>	<p>名鉄旅行 営業友綱 隆 (平成3年卒)</p> <p>㈱大阪名鉄旅行会 豊中営業所/〒560 豊中市岡上の町4丁目4-5 TEL 06(858)1585 田中ビル3F</p>
<p>塗装工事※看板 日本ペイント施工店・大阪府・吹田市指定業者</p> <p>株式会社 寺 田 美 研 社長 寺田賢作 (S42年卒)</p> <p>吹田市高浜町4番7号 電話 (06) 381-2401代</p>	

C 共同石油特約店
HONDA
二輪車専門店
豊中カクタス(株)

代表取締役 小寺恒雄 (S18年卒)
 豊中市北桜塚4-17-1 ☎854-0089

栄興電機工業株式会社

代表取締役 三木憲三

(23年卒)

本社 〒661 尼崎市瓦宮1丁目9-15
 TEL 491-5301
 工場 〒564 摂津市一津屋3丁目3-14
 TEL 349-2831

十陽会有志の集り
 (昭和13年卒第10期生)
 世話人 川本富三
 松尾一毅
 渡辺 章
 牧野雅男
 (今秋11月例会開催の予定)

金属素材 金属加工品
 (伸銅品・アルミニウム・ステンレス)

三谷金属株式会社

代表取締役会長 岩崎悦治
 (S17年卒)

本社 大阪市東成区大今里南4丁目1番10号
 電話 (06) 972-8801
 FAX (06) 974-7062

吹田市会議員
杉本庄七
 (S25年卒)

吹田市垂水町1-57-37
 電話 (06) 384-8016

宮永康之

(S30年卒)

(株式会社 ミヤナガ ドラッグストアー)
 大阪市東淀川区菅原6丁目23番19号
 TEL 06-327-2666

生菓子司
 さわや
濱田康雄
 (S41年卒)
 本店 〒566 大阪府摂津市千里丘東1丁目6-8
 電話兼木 (0726) 22-2908
 FAX (0726) 23-9911
 フォルテ摂津店 〒566 大阪府摂津市千里丘東2丁目10番1号
 電話兼木 (0726) 25-5208

旅行のお申し込み・お問合せは

京阪交通社

教育旅行大阪営業所

東 朗 (S46年卒)

電話 (06) 228-1691

株式会社 うを清

本店料亭・大阪市中央区北久太郎町5の18
 電話 (06) 252-7300~2番
 西区立堺堀・千里セルシ・虹のまち・新大阪駅・鴻池駅前

代表取締役 津田眞治
 (S16年卒)